



第560号

発行・自治労連千葉県本部  
千葉市中央区長洲1-10-8 自治体福祉センター内  
TEL 043-227-9393 FAX 043-227-6060  
MURL http://www.jichirorenchiba.jp/  
責任者・竹内 敏昭 編集長・片山 敦史

2019年10月21日

# 台風被害

## 復旧・復興に総力

こんな時こそ 住民のために、住民と共に  
国、県、自治体一体での対策が重要

### 台風15号、19号で被災された皆さんにお見舞い申し上げます



鋸南町ボランティアセンターの受付を担う県本部派遣のボランティア

9月9日千葉県に上陸した台風15号は、県内に甚大な被害をもたらしました。被災状況と職員の奮闘、組合としての支援活動を紹介しながら今後の課題を考えます。

鋸南町では世帯の68%以上が家屋損壊

台風15号は、最大風速57・5メートルの強風により多くの被害をもたらしました。倒木や鉄塔の倒壊などにより、当初は停電が46市区町村で約70万戸、断水が14市町村7400戸となり、鉄道が止まり、道路が寸断されました。停電は2週間を過ぎてようやくほぼ復旧

### 災害ボランティアに参加して

鋸南町役場は  
ごった返していた

「ボランティアの人、ボランティア、県職員、県内外からの派遣職員、県外から重機を持

参した業者、自衛隊員、被災した方々などで鋸南町役場はごった返していました。皆、疲労が蓄積する中、少しでも前へ進めるように動いていて、お手伝い

「被害の状況をニュース等で見てきて、とにかく少しでも被災地の皆さんとそこで働く職員さんの力になりたい」と思ってボランティアに参加しましたが、

君津市長野野 上田市職員の仲間も

「被害の状況をニュース等で見てきて、とにかく少しでも被災地の皆さんとそこで働く職員さんの力になりたい」と思ってボランティアに参加しましたが、

「被害の状況をニュース等で見てきて、とにかく少しでも被災地の皆さんとそこで働く職員さんの力になりたい」と思ってボランティアに参加しましたが、

君津市長野野 上田市職員の仲間も



→君津市で災害ごみ受け入れ作業をする上田市職員のボランティアの皆さん↑作業を終えて集合写真

避難所運営でも正規・非正規、専門職などの知識と経験が生かされ自治体職員の「チーム力」が光りました。

ボランティアセンターの支援などで奮闘

生活再建に 県・国の支援を



実際に被害の状況や運ばれてくる災害ゴミの量を目の当たりにして被害の大きさと深刻さを痛感した(上田市職労からの参加者)



鋸南町の海沿いに集められた災害ごみ

生活再建に 県・国の支援を

旧しましたが、家屋被害は約4万軒に上りまだ増え続けています。特に鋸南町では世帯数の10%が半壊以上、一部壊以上は68%にも上ります。

農業や地域経済等への被害も約410億と甚大です。

自治体職員等は自らも被災しながら昼夜を問わず奮闘して

自治体職員の 設立つ直営の力

生活再建に 県・国の支援を

生活再建に 県・国の支援を

### 自治労連(全国)桜井委員長と県本部竹内委員長が訪問

#### 君津市・鋸南町・南房総市・館山市・市原市 5自治体と職員組合を激励



石井市長に寄付を手渡す 県本部竹内委員長(写真右)

職員は本当にがんばっている

石井市長は「電気だけでなく、防災無線など通信手段が閉ざされた地区には、人海戦術で広報紙の配布を行っ

南房総市 嶋田副市長

館山市 金丸市長

横断歩道

白石町長は、道の駅保田小学校も被害を受けました

職員に「最初の3連休で休むよう指示したがなかなか休まず、2度目の3連休では義務的に交代で休ませた。

小出市長は、「孤立地区支援の呼びかけに職員約90名が参集し、2名1組で全戸訪問に入った。基礎自治体の役割を再認識した」と語りました。

NHKBS朝の連ドラで『おしん』が再放送されている